

はつらつ体験塾 通信



令和4年度 第1回フレンドリーキャンプ号 令和4年6月22日
新潟県少年自然の家

おいしくて、楽しい2日間でした



6月11日(土)・12日(日)に、胎内市の新潟県少年自然の家を会場にして、第1回はつらつ体験塾フレンドリーキャンプが行われました。小・中学生17人、学生ボランティア11人が参加したキャンプの様子をお知らせします。

6月11日(土)

13:00	13:30	14:10	15:10	17:30	19:00	19:50	21:30
受付	出会いの つどい	館内 ゲーム	お菓子 づくり	夕食	ナイト ハイク	お風呂 自由	就寝

出会いのレクリエーションでは、じゃんけんをアレンジした「セブンイレブンじゃんけん」を行いました。ペアを作って『じゃんけん ぽん』の掛け声で指を使って0～5までの数字を出し、出した数字が足して7になれば成功というゲームです。最初はなかなか成功しなかったペアも、何度も繰り返すことですぐに成功できるようになり、ハイタッチをして喜んでいました。

次に、活動班ごとに円になり、「キャッチゲーム」をしました。楽しく活動することで、同じ活動班の子どもと仲間意識を高めました。



「お菓子づくり」は、NPO 法人^{きらら}希楽々の先生を講師にお招きして、「クロカンブッシュ」というお菓子を作りました。小さなプチシューや生クリーム等をタワーのように積んでいきました。フルーツやアイシングクッキー、ミントを飾って、自分だけのお菓子を作りました。完成品は写真のとおりです。どれも素敵に出来上がりました。

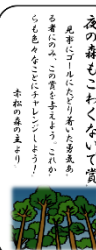


夕食後に、それぞれ作ったお菓子を食べました。とってもおいしいお菓子だったので、みんな笑顔で食べていました。どの子もほっぺたが落ちそう！



夕食後に行った「ナイトハイク」では、班ごとに薄暗くなった赤松の林の中を地図を頼りに進みました。迷いそうになりながらも勇気を出して進んでいくと、最後にお礼をゲット。みんなの勇気と班の友達との結束力が高まりました。

寝る前には、自由時間として、思い思いの活動をしました。体育館で体を動かしたり、玄関前ホールでお話をしたり、100号室でゲームをしたりと、それぞれ楽しそうな様子が見られました。



6月12日(日)

6:30	7:30	9:00	12:20	13:00	13:15	13:30
起床	朝食	カヌー、釣り	昼食	ふり回り	別れのつどい	解散

2日目には、みんなが楽しみにしていたカヌー、釣りを行いました。

「カヌーを上手にこぐことができるかな?」「大きな魚がたくさん釣れるかな?」、一人一人がワクワクした気持ちで、バスに乗り込み、胎内川河口カヌー艇庫へ向けて出発しました。

カヌー艇庫到着後は、それぞれ分かれて活動しました。カヌー組は、ヘルメットやライフジャケットをつけ、操縦の仕方を教えてもらおうと、さっそくカヌーに乗って川に出ました。はじめはなかなかうまく前に進まなかった子も、次第にコツをつかみ、スイスイとカヌーを操縦していました。



釣り組は、キスを狙って、浜まで移動。竿の準備をすると、自分たちで釣り針に餌となるイソメを付けました。自分で餌を付けられる子どもが多くて、ビックリでした。それぞれが、大物目指して海に向かって投げていきました。釣果は・・・、風が強く波が高かったためか、フグとキスがそれぞれ一匹ずつ。それでも海での活動をととても楽しむことができました。



看護師さんや学生ボランティアの皆さん、保護者の皆様のご協力があり、今回ののはつつ体験塾も大成功をおさめることができました。心から感謝いたします。ありがとうございました。

はつつ体験塾担当：天木享・星野貴之